

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が34例(男性17例(20歳代3例, 30歳代3例, 40歳代2例, 50歳代3例, 60歳代4例, 70歳代1例, 80歳代1例), 女性14例(20歳代1例, 30歳代4例, 40歳代2例, 50歳代3例, 60歳代2例, 70歳代1例, 80歳代1例), 未就学児3例あり, 累積報告数は1,314例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(40歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は16例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が3例(20歳代男性1例(第34週追加報告分), 10歳未満男性1例, 80歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は27例となりました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状はショック, 腎不全, 軟部組織炎です。感染地域は国内で, 感染経路は創傷感染です。本年の累積報告数は9例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(70歳代女性)(第40週追加報告分)ありました。症状は発熱, 咳, 全身倦怠感, 肺炎, 菌血症です。本年の累積報告数は20例となりました。
- 梅毒の報告が1例(20歳代男性)(第37週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は50例となりました。

◆ 今週のトピックス: <劇症型溶血性レンサ球菌感染症>

京都市の劇症型溶血性レンサ球菌感染症は第41週に1例の報告があり, 本年累積報告数は昨年と同数の9例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 8例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 203例(肺結核 92例, その他結核 41例, 潜在性結核感染者 70例)うち喀痰塗抹陽性 45例】
- 指定感染症:新型コロナウイルス感染症 34例【1月以降の累積報告数 1,314例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 27例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 50例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.07	46
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	32
	③ 突発性発しん	0.35	15
	④ ヘルパンギーナ	0.16	7
	⑤ 咽頭結膜熱	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

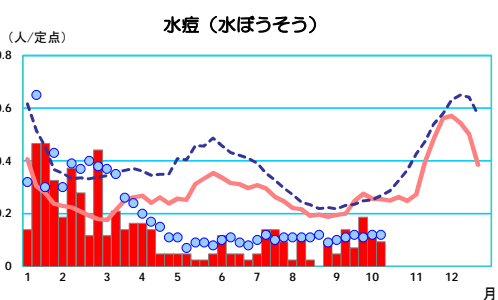
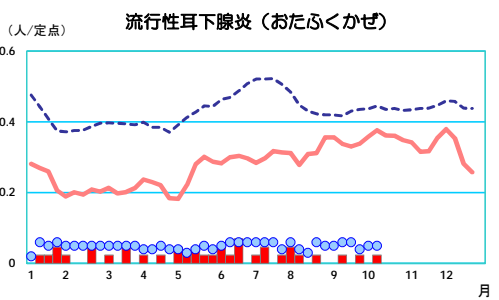
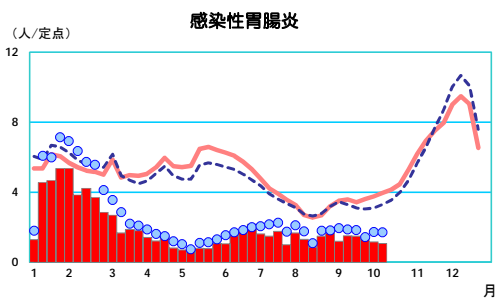
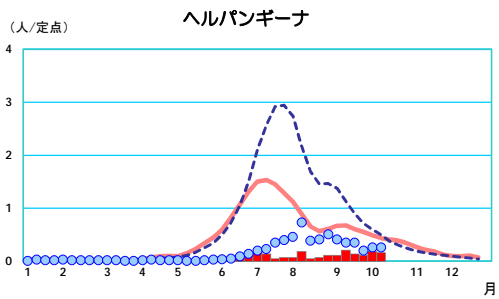
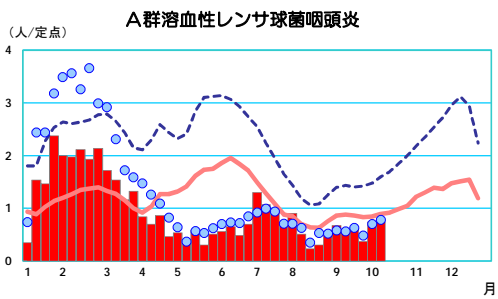
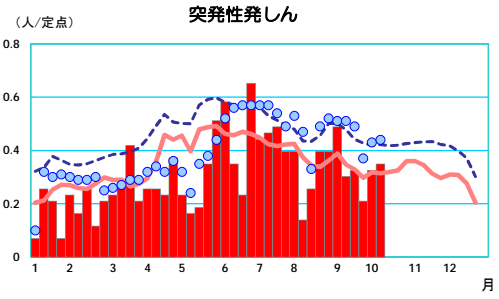
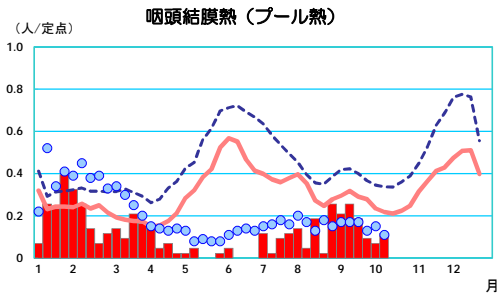
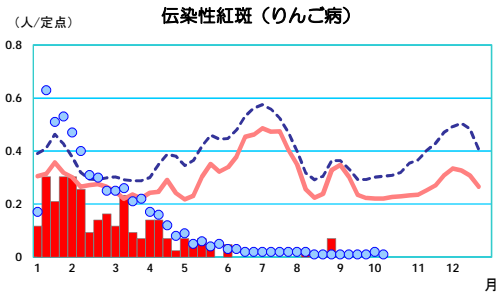
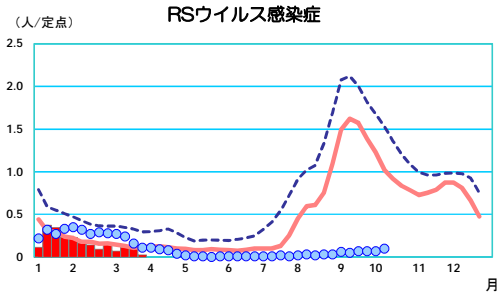
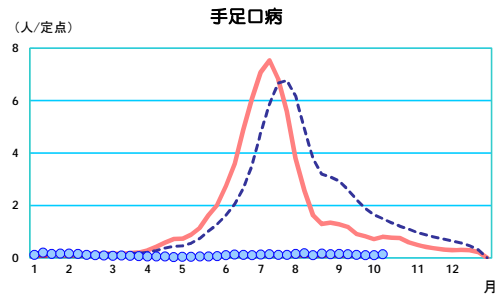
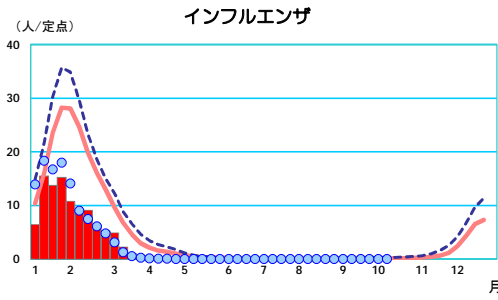
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <劇症型溶血性レンサ球菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 2020年10月14日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

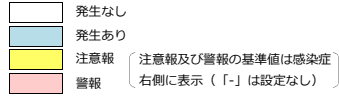
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

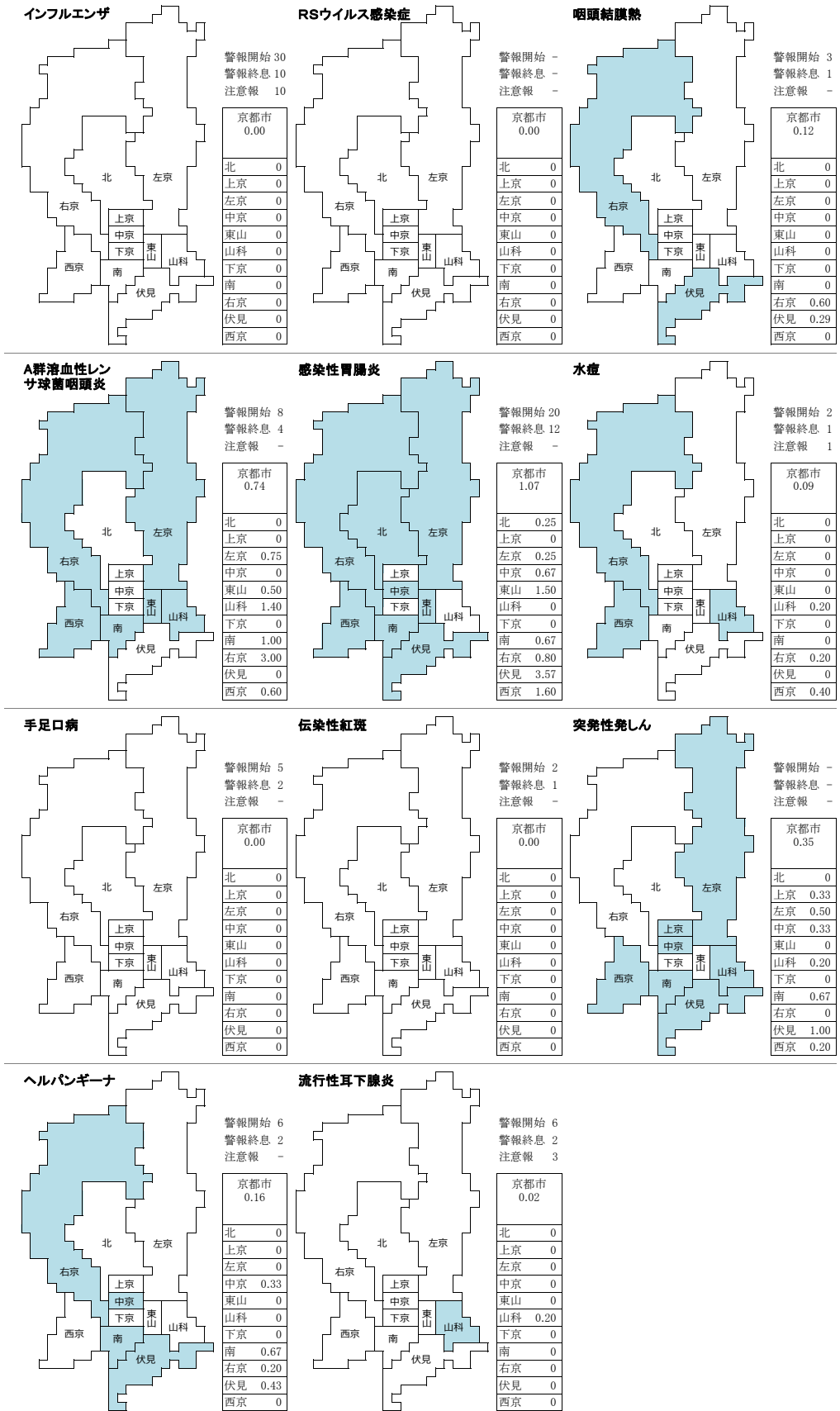
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第41週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第41週(10月5日～10月11日)トピックス: <劇症型溶血性レンサ球菌感染症>

京都市の劇症型溶血性レンサ球菌感染症は第41週に1例の報告があり、本年累積報告数は昨年と同数の9例となりました。過去5年は2例から9例で推移しており、現時点では本年も例年と同じ程度の報告数です(表1)。

京都市のみでは症例数が少なく経年的な傾向はわかりにくいですが、全国の過去の推移を見ると、昨年までの報告数はおおむね年々増加しています。昨年は過去10年で最も多い926例が報告されました。本年は第41週までで602例が報告されており、昨年よりは少ないものの、一昨年来上回って推移しています。また、各年の累積報告数推移を表したグラフの傾きがほぼ一定していることから、季節的な変動が少ないことがわかります(表1及び図1)。

過去5年の男女別構成割合では、各年で男性が51%から56%、女性が44%から49%と、男性がわずかに多い傾向があります(表1)。

全国の2015年から2020年第41週までの報告数合計3,718例を年齢階級別でみると、最も多いのは70歳以上で55.5%と過半数を占め、次いで60歳代が18.4%で、60歳以上で全体の7割を超えています。全体としては年齢が下がるほど割合が小さくなる傾向がありますが、0歳の割合が2.3%とやや大きくなっており、疫学的には重要と考えられます(図2)。

本疾患は5類の全数把握感染症として、診断から7日以内の届出が義務付けられています。病原体はA群溶血性レンサ球菌が大半で、まれにB、C、G群溶血性レンサ球菌の場合があり、感染経路としては上気道感染や創傷感染等があります。創傷感染では、気付かないほど小さい傷からの菌の侵入によっても感染すると考えられており、感染経路不明と報告されることも多くあります。特定の基礎疾患との関連は明確にされておらず、突発的に発症し、敗血症性ショック病態が急激に進行するため、早期診断及び外科的処置のできる医療機関での早期治療が重要です。

表1 京都市及び全国の報告数の推移

		2015	2016	2017	2018	2019	2020 第41週まで
京都市	男	1	3	4	3	4	4
	女	1	3	5	4	5	5
	合計	2	6	9	7	9	9
全国 (カッコ内は 男女別割合)	男	231 (56%)	259 (52%)	300 (51%)	364 (52%)	498 (54%)	319 (53%)
	女	184 (44%)	235 (48%)	287 (49%)	330 (48%)	428 (46%)	283 (47%)
	合計	415	494	587	694	926	602

図1 全国の累積報告数推移(2015年～2020年第41週)

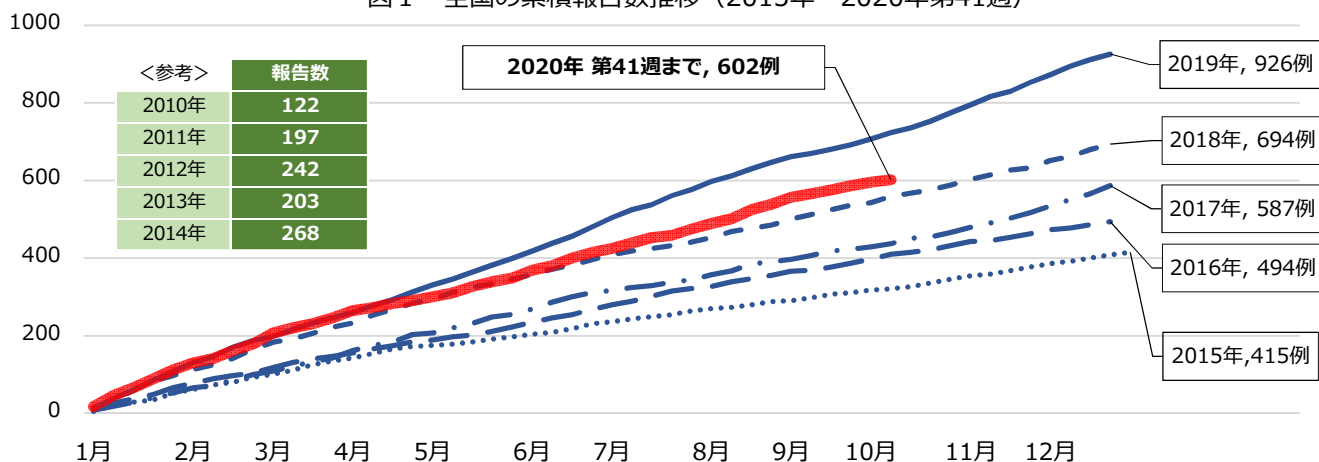
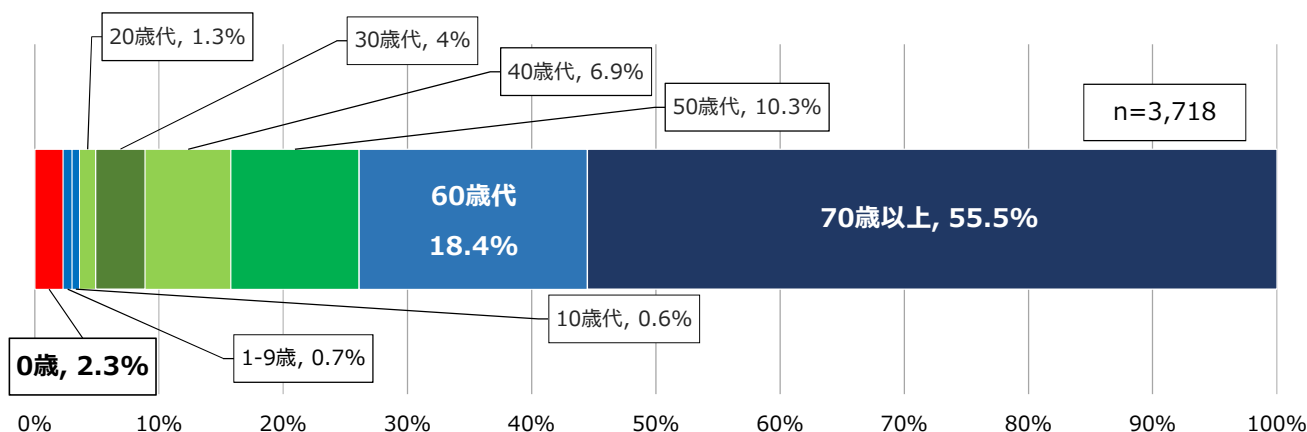


図2 全国の年齢階級別割合(2015年～2020年第41週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第41週

疾病,行政区別報告数

2020年10月5日～2020年10月11日

データ入手日:2020年10月14日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	3	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	7	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	2	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	3	15	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	2	-	25	-	-	-	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	3	8	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	5	32	46	4	-	-	15	7	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.75	0.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	0.67	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.40	-	0.20	-	-	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	0.67	-	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.60	3.00	0.80	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.29	-	3.57	-	-	-	1.00	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.60	1.60	0.40	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.12	0.74	1.07	0.09	-	-	0.35	0.16	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第41週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年10月5日～2020年10月11日

データ入手日:2020年10月14日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		5	-	-	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		32	-	-	2	2	3	5	8	3	1	3	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		46	2	1	10	3	4	1	1	1	4	1	2	12	1	3	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	1	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	5	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		7	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	-	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.74	-	-	0.05	0.05	0.07	0.12	0.19	0.07	0.02	0.07	-	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.07	0.05	0.02	0.23	0.07	0.09	0.02	0.02	0.02	0.09	0.02	0.05	0.28	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
水痘		0.09	-	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.35	-	0.12	0.16	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.16	0.02	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第41週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年10月14日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	11	8	4	3	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	26	27	16	32	32
感染性胃腸炎	51	65	64	55	50	46
水痘	2	6	3	8	5	4
手足口病	4	4	1	1	1	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	21	13	14	9	14	15
ヘルパンギーナ	5	9	6	5	8	7
流行性耳下腺炎	-	1	-	1	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	1	1	1	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	126	135	124	100	114	110

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.21	0.26	0.19	0.09	0.07	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	0.60	0.63	0.37	0.74	0.74
感染性胃腸炎	1.19	1.51	1.49	1.28	1.16	1.07
水痘	0.05	0.14	0.07	0.19	0.12	0.09
手足口病	0.09	0.09	0.02	0.02	0.02	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.49	0.30	0.33	0.21	0.33	0.35
ヘルパンギーナ	0.12	0.21	0.14	0.12	0.19	0.16
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.02	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	-	0.10	0.10	0.10	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3.31	3.14	2.96	2.40	2.73	2.56

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。